



2020年3月16日

受益者の皆様へ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
運用調査本部

## 足元の株式市場の下落に関して

受益者の皆様におかれましては、2月後半以降の基準価額の大幅な下落に対してご不安をお感じのことと存じます。また新型コロナウイルスの感染に対する懸念や感染予防疲れによって不安心理がより一層高まっている方が多くいらっしゃるのではないかと案じております。

日本の株式市場は2月25日から急落を始め、3月13日にかけての3週間でTOPIXが-24.6%、日経平均株価が-25.5%と両指数ともに大幅な下落となりました。株価下落の背景は新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことを主因に、OPECの協議不調をきっかけに石油価格が急落したことが金融市場の混乱に拍車をかけたことが要因と見られます。

現在の日経平均株価の水準は、過去10年のPER（株価収益率）の平均値（約15.1倍）を基準とした場合、採用企業の純利益合計が約28%減少することを示唆しています。SMBC日興証券の試算（3月10日付）によると感染拡大期間が2月から7月まで6ヶ月間続き、オリンピックが中止された場合に上場企業の純利益は最大で24.4%減少するとされています。やや単純化した計算ではありますが、上記の考え方をベースにすると現在の株式市場はオリンピック中止をすでに織り込んだということが言えそうです。

上記のような推計で現状を大まかに把握することができますが、状況は刻々と変化しています。今後、更なる感染拡大や原油価格下落に伴う経済活動の停滞長期化や金融市場の混乱拡大などのネガティブ要素と、追加経済対策や新薬開発の成功などのポジティブ要素のどちらも発生する可能性があります。更なる下落も、逆に元の水準への急回復もどちらも起こりうるシナリオであることから、引き続き予断を持たずに状況を注視し続けることが必要です。

アクティブファンドマネージャーの使命は今の状況を冷静に見極め、投資判断をするということを通じ、受益者の皆様の安心と資本市場の安定に貢献することだと考えております。不安定な株式市場の中で、弊社が運用するファンドに投資していただいている受益者の皆様の不安を解消できているとは言えない状況に対し、我々は現状を直視し、改めて私どもの業務に真剣に取り組むことを徹底しています。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 情報提供資料

このような状況の中、先週末に弊社グループ創業時から30年間、一貫して支援してくださっている株主の方が弊社オフィスに来訪の上、以下の様な趣旨の激励メッセージを残されました。

「新型コロナウイルスの影響で不透明な世の中において、どうすればよいかという問いへの回答はない。今やるべきことは真剣に考えること。皆さんがコントロールできることは僅かかもしれないが、そのコントロールできることのレベルを少しずつでも高めていくことが大切。そして、助けてくれた人がいたら感謝の気持ちを伝え、周りに困っている人がいたら手助けをする。真剣にならなければいけないが、逆に深刻になってはいけない。今こそ笑顔が必要だ。笑おう。」

弊社の株主が我々にしてくれたように、投資先企業を信じて励ますことも中長期的に企業価値創造をサポートする投資家の役割です。この度の混乱とその中で株主との対話を通じ、我々は改めて我々の役割を認識し、活動の質を高めていくことこそが中長期的に受益者の皆様のためになるということを再確認しました。

なお、我々の業務が新型コロナウイルスの影響を受けて止まってしまうこともリスクの一つです。そのようなリスクへの対策として、各種情報通信ツール（モバイル端末、電話・ビデオ会議、クラウドシステムなど）の活用や、柔軟な勤務態勢（在宅勤務、時差通勤など）の導入によって、我々自身の感染リスクを極力回避しながら、従来とほぼ変わらぬ水準の調査・投資活動を行っております。また、仮に弊社オフィスから感染者が出た場合の対応策について検討を重ねるなど、業務の安定性を高めることに努めており、足元の難局を機にむしろ運用体制を更に強化するべく活動を行っております。

我々は市場環境がいかなる状況においても、一貫した投資哲学に則ってボトムアップで優れた企業を選別した投資を行ってまいります。引き続きご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 情報提供資料

### 投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々の投資信託に適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なるため、費用の料率はスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定の投資信託の取得をご希望の場合には、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断で行っていただくようお願いいたします。

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

特化型のファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 情報提供資料

### 投資信託に係る費用について

当社における公募投資信託に係る費用（料率）の上限は以下のとおりです。

#### ●直接ご負担いただく費用

購入時手数料	上限 3.85%（税込）
換金手数料	なし
信託財産留保額	上限 0.5%

#### ●投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	上限 2.09%（税込）
実績報酬（※）	投資信託により、実績報酬がかかる場合があります。

※実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他の費用・手数料 （※）	監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに組入有価証券（ファンドを含む）の売買の際に発生する売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建て資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券がファンドの場合には、上記の他に受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかる場合があります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
-------------------	--

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 投資信託により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

#### <委託会社>

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 情報提供資料

### ■ 本件に関するお問合せ先

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

マーケティング本部 リテールBDマーケティング部

電話番号：03-6711-9170

受付時間：9:00～17:00（12/31～1/3・土日祝日・振替休日を除く）

以上

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。